



MISS EARTH SHIGA 2018

2018 ミス・アース・ジャパン 滋賀大会

開場/15:30 開演/16:00~ 一般席入場無料・投票権有り

4/25(水) びわ湖ホール 小ホール

Program

15:30 / 開場	17:00 / 二次審査(ドレス&スピーチ)
16:00 / オープニング 開会宣言、審査員紹介、ファイナリスト紹介	17:30 / 一般投票
16:20 / 一次審査(水着審査)	17:50 / 結果発表
16:30 / PV放映	18:10 / 閉会
16:40 / OPERA SHOW TIME (安田旺司&フレンズ)	

※ミスアース滋賀のグランプリが戴冠するティアラは琵琶湖固有のイケチヨウガイを母貝とする琵琶湖真珠を使ったオリジナルのものです。
ミスアース滋賀大会はびわ湖の環境にも配慮した活動を行っております。(ティアラ協力/株式会社びわこパール)

MISS EARTH SHIGA 2018 Finalist



米田 早織



山口 成美



森川 真衣



上森 パメラ



岩城 ありさ



大久保 杏紗



岸渕 紗江



小林 沙霧



司会/堀井 哲朗



司会/宇野 ひと美



主催/BOSS戸田



オペラ/安田旺司



大西皮ふ科形成外科医院/
オフィスサービス/
びわこ登記開発事務所/
Style Exer+K / La Bonita

【後援】 滋賀県/大津市/びわ湖放送



MISS EARTH SHIGA 2018

大会審査員

スペシャルゲスト 徳永優子 / トータルスタイリスト



和装トータル・スタイリストとして映画・テレビ・雑誌などで幅広い経験を積み2001年渡米。日本人として初めて難関であるハリウッド映画ヘア部門ユニオンに加入を果たす。映画コンサルタントや演出家としてもセンセーショナルな感性と実力を発揮。ハリウッド業界のリーダー的存在である。マイケル・ジャクソンの復活コンサートで使用する予定だった『スリラー』3D版のヘアを手がけ、その立体ヘアデザインのセンスは国内外で高く評価されている。また撮影業界の傍ら、サロン経営や美容学校の運営、後続育成に尽力している。



BOSS 戸田 / 俳優

草津市在住、55歳を過ぎた頃に「還暦でレッドカーペットを歩く」を目標に俳優を志す。出演した映画「マザーレイク」が、第57回スズリン国際映画祭の正式招待作品に選出されレッドカーペットを歩く夢を実現。

- 【主な出演作品】
- ・「カラアゲ☆USA」(瀬木直貴監督)
 - ・「星々の約束」(瀬木直貴監督)
 - ・「マザーレイク」(瀬木直貴監督)
 - ・「白波」(長尾淳史監督)



野田萌 / モデル

大津市出身。幼い頃より滋賀の自然に親しみながら育つ。19歳で上京しモデルデビューし2012年ミス・アース・ジャパン日本代表選考会にてグランプリ獲得。同年のミス・アース世界大会に出場し、TOP16入りを果たす。「Fine」、「Scawaii」などのファッション誌のモデルも努め、ファッションショー、広告等幅広くモデルとして活動。



KEIKO / エクササイズプロデューサー

「今の私が一番好き」と胸を張って言える「輝く自分づくりのお手伝いをしながら、心豊かに、美しさと健康を提供したい。そんな想いでエクササイズプログラムを展開するStyle Exer+K。学問的にプログラミングされたエクササイズは定評があり、ミスコンテストでの講師を務めるなど、DVDや書籍でも活躍中の人気のブレイクコプロデューサー。

- 【主な経歴】
- ・2017ミス・ユニバース審査員
 - ・2017ミス・ユニバースジャパンBC講師



剣名舞 / 漫画原作者・俳優

代表作「ザ・シェフ」は東山紀之主演で日本テレビ系でドラマ化、「女医レイカ」は名取裕子主演でフジテレビ系にてドラマ化。他に小説、エッセイ、作詞、作曲、舞台の作・演出も行う。原作・脚本の映画「タイムカプセル」が2018年公開予定。大阪芸術大学キャラクター造形学科客員准教授。プロデビュー講座主宰。

- 【主な作品】
- ・「ザ・シェフ」(作画:加藤唯史)
 - ・「M.C.☆LAW」(作画:浅田有皆)
 - ・「女医レイカ」(作画:嶺岸信明)
 - ・「妖怪人間ベムRETURNS」(作画:津島直人)



瀬木直貴 / 映画監督

1963年。三重県生まれ。ソウルポート(株)代表。地域を舞台にした映画に定評がある。三重県、福島県などの観光大使や産業政策アドバイザー、大学の非常勤講師も務める。

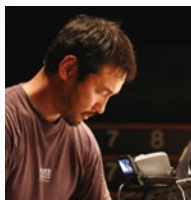
- 【主な作品】
- ・「恋のしずく」(2018・今秋全国公開)
 - ・「マザーレイク」(2016)第57回スズリン国際映画祭正式出品
 - ・「カラアゲ☆USA」(2014)・「ラーメン侍」(2011)
 - ・「KIZUKI」(2008)日本映画批評家大賞2009 国際賞・北海道洞窟湖サミット記念上映作品



港健二郎 / 映画監督・脚本家

大牟田市生まれ。1978年、シナリオ界の芥川賞といわれる城戸賞受賞。1986年には、フィリピン革命を描いた、テレビ界最高の栄誉と言われるギャラクシー奨励賞受賞。2008年、三池争議の労働歌を作曲した荒木栄を題材にしたドキュメンタリー映画「荒木栄の歌が聞こえる」で日本映画復興会議奨励賞を受賞。

- 【主な作品】
- ・記録映画「核トマフォーク」(日本映画復興会議奨励賞)
 - ・長編劇映画「ひだるか」(2006年 カヌ映画祭出品)
 - ・長編劇映画「あした天使になあれ」
 - ・長編ドキュメンタリー映画「花のように あるがままに」



安田淳一 / 映画監督

1967年京都生まれ。映画製作、グラフィックデザイン、スチル撮影など多岐に渡る業務をこなしながら京都四条木屋町に油そば店をオープンさせるなど各業界で異彩を放つ存在。

- 【主な作品】
- ・「新世界歌謡道」
 - ・「SECRET PLAN」(横浜映像天国2007グランプリ)
 - ・「RUNNINGMAN」(横浜映像天国2010新人監督賞受賞)
 - ・ごはん



山岸謙太郎 / 映画監督

プロ・アマ混合の自主制作映画団「Project Yamaken」を2000年に旗揚げ。製作費300万円という低予算で製作したSFエンターテインメント作品。「キヤクドロボウ」が評価され続々と話題作を送り出す。

- 【主な作品】
- ・「キヤクドロボウ」(第11回上海国際映画祭パノラマ部門入選、他)
 - ・「東京無国籍少女」2012年(ヨコハマハードボイルドアクションムービーコンペティション2012押井守審査員特別賞)
 - ・「サムライゾンビ・フライング」(日本芸術センター第5回映像グランプリ、他)



夜西敏成 / 映画監督

大津市在住。小学校6年の時に観た映画「スターウォーズ」に衝撃を受け、映画監督を志す。サラリーマン生活を経て独立。処女作映画「サファイア」のプロモーションリールが、押井守監督より評価され話題に。

- 【主な作品】
- ・「サファイア」(ゆらばり国際ファンタスティック映画祭 2017 ゆらばりチョイス部門選出)ワールドプレミア上映
 - ・「新入社員研修」(やお80映画祭2016 入選)



大八木淳史 / (株)山崎砂利商店 顧問

伏見工業高校でラグビーを始め、高校日本代表として英国およびニュージーランドへ遠征。卒業後は同志社大学へと進み、学生日本一(4回)に貢献。1984年、ニュージーランドのカンタベリー大学にラグビー留学。帰国後、神戸製鋼に入社。世界選抜の一員としても活躍。日本選手権7連覇の偉業を成し遂げ、日本代表としても第1回、第2回ワールドカップに出場。現役引退後はテレビ・ラジオで活躍。またラグビー振興のため講演会、指導など全国を飛び回っている。